

しまだ 議会だより

No.31

9月定例会

2011(平成23)年11月1日発行

発行 島田市議会

〒427-8501 静岡県島田市中央町1番の1

☎ (0547) 36-7204

FAX (0547) 37-2212



目次

P 20 P 18 P 17 P 16 P 13 P 11 P 2

一般質問
議案質疑
常任委員会の報告
討論
採決結果一覧
定例会の概要&議決結果
議会報告会の開催報告

庁舎内のご案内をします
お気軽にお尋ねください

一般質問

16人の議員が市政を問う

P 3 松本 敏 議員

- 市民病院の建て替え地は現地がベストだ！
- 五和幼稚園の民営化は中止すべき！

原 木 忍 議員

- 防災メールの配信を検討しているか
- 川根温泉宿泊施設は行革に反する

P 4 坂下 修 議員

- 島田市の地震防災対策について

大石 節雄 議員

- 川根小学校の改築計画は？
- 子育て世代型住宅の状況はどうか？

P 5 村田千鶴子 議員

- ポイ捨て・犬のフン放置ゼロのまちへ
- 来年度（仮称）文化課の新設を検討中

桜井 洋子 議員

- 柔道の安全教育を徹底すべき！
- 高すぎる国保税の引き下げを！

P 6 杉村 要星 議員

- なぜ、街中へ移転なのか

佐野 義晴 議員

- 液状化対策をどう考える
- 病院の移転・大学誘致は本当か

P 7 紅林 貢 議員

- 安心できる放射性物質対策を問う
- 学校の暑さ・安全対策は大丈夫か

仲田 裕子 議員

- 473号B Pへの地元要望を重視せよ
- 川根温泉宿泊施設の建設

P 8 藤本 善男 議員

- 子ども手当はどのように変わるのか
- 災害発生時、情報は入手できるか

八木 伸雄 議員

- 放射能汚染に対する茶園管理は
- 金谷を生かす街づくり

P 9 富澤 保宏 議員

- 大学誘致の進捗状況は
- 地震等災害への対策は

清水 唯史 議員

- 再生可能エネルギー利用の促進を！

P 10 星野 哲也 議員

- 子ども・若者育成支援推進法とは
- 池田小学校事件は忘れ去られている

曾根 嘉明 議員

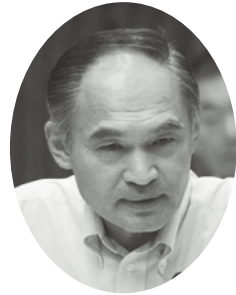
- 大学誘致に期待する

質問は、一定時間内に一件ずつ行う「一問一答」方式と複数の質問を一括して行う「包括」方式（質問回数は3回まで）があり、質問する議員が選択します。



込み合う病院駐車場での交通整理の様子

市民病院の建て替え地は 現地がベストだ！



まつもと
松本
さとし
敏議員
(一問一答)

問 市民病院の建て替え場所は病院機能を十分確保でき、かつ拡張性も備えることが必要だ。従って現在地での建て替えがベストと考えるがどうか。超高齢化社会を踏ま

えて街中へ医療を集中し、地域医療環境の整備を行う。多様なサービスを集中させ、中心商店街の活性化を図る。
問 自治体病院の多くは広い敷地が必要なため郊外型だ。中

心市街地周辺では、朝夕の交通渋滞、救急車のサイレン、ヘリコプターの音などで近隣の住環境に大きな影響があると思うが、見解を伺う。
答 敷地の面積や住環境への影響など、移転

のための諸条件は年度内に基本構想を作るので、その中で検討していく課題だ。

問 現病院の所に大学を誘致する計画があると聞く。すでに病院が建っているこの場所ではなく、別の場所に誘致すべきだ。
答 市としては、ここを適地と考えた。

五和幼稚園の民営化は中止すべき！

問 五和幼稚園の民営化は、保護者や市民の理解を得られていない。中止すべきだ。

答 民営化の目的は、行政改革の流れに添ったものだ。

問 五和幼稚園の存在意義は、公設としてどの子にも等しく幼稚園教育を受ける機会を提供することにある。公的サービスとしての幼稚園教育を提供できるように、市はもっと五和幼稚園の発展に力を尽くすべきだ。

答 市内の幼稚園は、すばらしい幼児教育をしている。民間に移管し、さらなる発展を期待する。



防災メールの配信を検討しているか

はらき
原木
しのぶ
忍議員
(一問一答)

問 総合防災訓練の課題はあったか。
答 4市町で連携する訓練が少なく、今後災害時の連携について検討する必要がある。
問 一般参加者への対応は考えていたか。
答 訓練内容を周知することは考えていなかった。
問 各自自主防災組織は、組織台帳、避難所運営マニュアルを備えているか。
答 組織台帳は、ほとんどの自主防災組織が整備している。避難所運営マ

ニュアルは、全ての避難所で整備するまでに至っていない。

問 孤立予想地域のすべてに衛星携帯電話を配備しているか。
答 県が孤立すると想定した24地区だけでなく、市独自で15カ所、指定避難所

9カ所にも配備している。

問 防災メールの配信は検討しているか。
答 情報伝達手段の一つとして、今後検討したい。

川根温泉宿泊施設は 行革に反する

宿泊施設を市が直営することは行政改革の基本方針に逆行する。
問 市が直営することを行政改革推進委員会で協議したか。
答 協議していない。概算額18億円の財源

内訳はどうか。
答 過疎債17億円、一般財源は1億円である。
問 過疎債の当初の計画8億円を増やしたのか。
答 基本計画で出した金額で若干増加した。
問 雇用84人は地元川根地区で満たされるか。
答 基本的には、川根地区に在住する方、Uターン希望者を積極的に雇いたいと考えている。



8月28日の総合防災訓練（災害拠点エリア）

島田市の地震防災対策について



さかした おさむ
坂下 修議員
(二問一答)

問 島田市が行った東日本大震災に対する人的支援から得たもの、学んだものはあるか。
答 それぞれの職員が直接現地の空気や被災状況を目のあたりにし、感じ

取ったものが一番大きいのではないかと改めて避難所は、避難している方で運営していかなければならぬという認識だ。地方公共団体が住民サービスの拠点として機能し

問 来年度から防災に関する窓口を統一する答弁があったが、具体的な構成は。
答 (仮称)防災課を設置し、災害対策の一元化を図る。

問 防災用行政無線の継局、機器などの長時間の維持シミュレーションはあるか。
答 機器については普段から充電しており、自家発電も整備されている。燃料の備蓄も十分対応できるものと考えている。

問 地域防災指導者養成講座を再開して、島田市独自の「山間防災士」・「市街防災士の育成が得意でないか。
答 自主防災組織の育成対策補助金を活用し、自主防災リーダーを目指してほしい。

問 民間資格「防災士の把握は。
答 把握していない。県の「ふじのくに防災士」については27人と把握している。

続けなければならないと強く感じました。

問 総合防災訓練の成果は。
答 市民の防災意識の高揚と防災知識・技術の向上や行政防災関係機関等の連携強化につながった。

総合防災訓練、島田市大井川会場にて



川根小学校の改築計画は？



おおいせつ お
大石節雄 議員
(一問一答)

問 川根小学校の改築はどんなスケジュールで進めていくか伺う。
答 平成24年度に耐力度調査、地質調査を実施し、平成25年度に基本・実施設計、平成26年度あるいは27年度で改築工事を実施する計画である。

問 保護者および市民の意見要望の集約はどうしていくか伺う。
答 検討委員会を設置し、学校関係者や有識者、保護者や地域住民の意見を聞きながら進めたい。

問 川根小学校は、防災避難所として指定されている。資器材・非常食の備蓄状況はどうか伺う。
答 川根小学校にはアルファ米1550食、非常用飲料水(500ml)2160本、毛布490枚、簡易トイレ8台、発電機1台を配備している。

問 入居者の入居後の感想、地域町内会等住民の反応はどうか伺う。
答 親、子供たちも喜んでいる。町内会からは、入居者が町内会活動にも積極的に参加し、子供たちのにぎやかな声がいっぱい聞こえ、街が元気になり感謝しているとの話を聞いている。事業効果は上々であったと考えている。

問 過疎地域定住促進に向けての宅地確保の計画はあるか伺う。
答 市過疎地域自立促進計画に基づき、定住化促進に向けた共同住宅建設の事業に取り組んでいる。宅地の供給についても民間開発の導入など具体化に向けた検討を進めたい。

改築が計画されている川根小学校



いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん

ポイ捨て・犬のフン放置

ゼロのまちへ



むらたちちづこ
村田千鶴子 議員
(一問一答)

問 「ごみのない美しいまちづくり条例」には、ポイ捨て・犬のフンの放置を禁止する規定がある。しかし、一部のモラルに欠ける人の行為が後を絶たず、市民が困っている。条例に罰則規定を明記してはどうか。

答 啓発活動を主体に防止に取り組んでいきたい。今後、必要性和実効性について検討する。

問 パトロールへの協力を自治会に呼び掛け、重点地域を決め、イエローカード作戦(フンの放置を一掃するために地域ぐるみで取り組む活動)を実施できないか。

答 公園、河川敷の施設管理者や自治会長等の理解を得ながら進めていきたい。

来年度(仮称)文化課の新設を検討中

問 平成11年の蓬萊橋保全事業の政策評価を再調査し、今後、蓬萊橋を生かした施策につなげる考えはないか。

答 認識はしているが、現時点では考えていない。

問 景観行政団体として蓬萊橋右岸側(谷口原)の整備を景観計画に盛り込み、促進できないか。

答 整備目的の地区指定は景観形成の本質になじまないが、地域の



長谷川藤兵衛の治水事業をたたえる先賢碑(大井神社)

皆さんの意見を聞きながら進めていきたい。

問 島宿は大井川に流され、元和元年(1615年)に旧地に復帰。来る2015年には、復帰してから四百年を迎える。この礎を築いた長谷川代官の功績および史実を後世に伝えていきたい。

答 長谷川藤兵衛にスポットを当てた展示を検討し、遺跡に説明看板を設置して周知に努めたい。

問 今後の文化行政をどのように考えているのか。

答 文化・芸術の振興について、一体的・総合的に取り組んでいく。

柔道の安全教育を徹底すべき!



さくらいようこ
桜井洋子 議員
(一問一答)

問 来年度から中学校の体育で武道が必修化される。各校はどれを選択するのか。

答 7中学校中、川根中は剣道を、他の6校は柔道を履修する。

問 柔道の重大事故は他のスポーツに比べて突出しており、授業や部活で初心者の事故が多いと聞く。指導する教師に対しての安全教育はどうなっているのか。

答 必修化に向けて、県教育委員会主催の研修会

が開催され、各学校の体育教師が参加し、安全の確保についても研さんしている。

問 専門的な指導ができる外部指導者を活用すべきと考えるがどうか。

答 さちんとした資格を持った指導者に、体育教師も生徒も指導を受ける方向で考えていきたい。

高すぎる国保税の引き下げを!

問 長引く不況で家計が大変な中、国保税が高すぎて払いきれないと悲鳴が上がっている。平成22年度の滞納状況はどうか。

答 滞納世帯数は2793世帯、滞納額は9億1666万円となっている。

問 滞納世帯の所得段階はどうなっているか。



柔道の練習風景 (島田第一中学校)

答 所得ゼロと所得100万円(200万円以下)が非常に多い。

問 来年度の国保税は引き上げを検討していると聞く。増税すれば、さらに滞納者を増やす悪循環だ。国民健康保険は社会保障制度として、命と健康を守るものだ。一般会計からの繰り入れで、引き上げるべきと考えるがどうか。

答 引き下げのための繰り入れは考えていない。

※このコーナーの掲載記事は、発言議員本人からの寄稿によるものです。

いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん

なぜ、街中へ移転なのか



すぎむらようせい
杉村要星 議員
(一問一答)

問 市長は、市民病院をジャスコ跡地へ移転させたいという考えを明らかにし、6月4日の新聞に載った。これを見た多くの市民は、なぜ今の場所ではダメなのか、なぜ街中へ移転させるのか、駐車場はどうなるのか、新病院は狭くてゴチャゴチャにならないかなど心配している。近隣市の総合病院を見てみると、焼津も藤枝も牧之原も掛川も、そして掛川と袋井が一緒になってつくる新病院も郊外型である。それは、病院が駐車場を含めて広大な敷地を要すること、緑豊かな環境が病人の癒やしに必要であることなどが理由である。そこで、なぜ今の場所ではダメなのか、なぜ市民

の不安や常識を覆してまで街中へ移転させようとしているのか、その理由と狙いについて伺う。
答 市民病院は、災害拠点病院になっており、その機能強化のためにはどうしてもへリポートが必要である。病院駐車場に建設しようとして、これまで6回ほど地元周辺の皆様と話し合いをしたが、夜中にうるさいからダメだとか、ホコリが立つからダメだとか



移転が検討されている市民病院

の反対があり、結局、医師からもここは無理だということになって移転を考えることにした。移転先をジャスコ跡地にしたのは、島田駅までは市内の各地からコミバスが来ているので、乗用車でなくコミバスを使って病院まで来てもらえるようになること、駅から病院まで7分前後なので市街地を歩く人も増え、商店もにぎわうことになることなどを総合的に考えて決めた。

液状化対策をどう考える

さのよしはる
佐野義晴 議員
(一問一答)



問 液状化現象が想定される場所が市内にあるか。
答 全体の3割くらいの面積で被害が想定され、地域としては大津・六合・伊太地区等に集中する。
問 減災の方策はあるか。
答 既存の建物には手立ではほとんどない、事後の対策を考えるしかない。
問 想定地区への対応で、特定目的基金の創設による備え、宅地造成に対する助成等はいかか。
答 これから考える。

病院の移転・大学誘致は本当か

問 病院の移転先について、これまで係争問題を理由に明確な答弁が避けられてきた。先般、あえて報道発表したのは、一定の目的があったと認識して良いか。
答 現在は土地取得に向けて情報収集を続けている。
問 着工を平成28年としているが、法的な手続き、市民との意見集約、周辺住民との合意形成等から逆算した工程計画を伺う。
答 これから作成する基本構想の中で明確にする。
問 既存の場所での建て替えの可能性はゼロか。
答 不測の事態になれば、変更の可能性はある。
問 大学の誘致について、病院と大学の交流の度合い、大学の開設時



液状化現象により持ち上がったマンホール

期と必要面積、そして誘致の確決定定期を伺う。
答 これから行う正式協議の場で決める。
問 大学の誘致先を既存の病院跡地とする案に、大学の反応はどうか。
答 正式の協議の場で協議する。
問 病院移転の目的を街の活性化としているが、大学を街中に誘致することで活性化は図れないか。
答 病院の方が活性化を図れる。

安心できる

放射性物質対策を問う



紅林 貢 議員 (一問一答)

問 お茶の放射性物質検査の今後の取り組みは。

答 県は、県内19産地の秋冬番茶の荒茶と茶園土壌の調査を予定している。市は、その結果を注視していきたい。

問 市で検査助成をしても市で検査助成をしてももらえるのか。

答 販売を目的とし、自ら生産を行う農産物について、何品目でも1品目1回に限り対象となる。風評被害への対策はどのようになっているか。

問 荒茶価格の下落による影響・生産中止による減収について基準を設けている。損害賠償の東京電力への請求は、10月下旬から毎月実施していく。

問 島田市のお茶は安全であるというPRを東京でできないか。

問 島田市で来年開催するお茶サミットの事前PRを東京都内で実施する中で、お茶・他の農産物を含めPRしたい。

問 本年、市内小・中学校に扇風機が設置されたが、今後の対策はあるか。

問 扇風機の台数が一部不十分であるとの意見もある。きめ細かな対策ができればと思うので、音楽室等に少しずつエアコンを整備していきたい。

問 学校施設の中長期の計画的な改築・改修・修繕を検討しているか。

答 原子力賠償紛争審議会の中間指針で、農産物の風評被害の賠償範囲について、静岡県はお茶と牛肉について認められている。風評被害の算定は、在庫・返品処分・値引き販売・

放射性物質検査の検体 (秋冬番茶)



473号BPへの地元要望を重視せよ

こゆうなか 議員 (一問一答)



問 新東名の開通を踏まえ、国・県に対する国道1号バイパスの渋滞解消を視野に入れた新大井川橋の4車線化、菊川インターのフルインター化や菊川地域防音対策等の要望について市の対策を伺う。

問 地元より県および市へ出された要望書の内容と対処について伺う。

問 ルートをできる限り住宅から遠ざけること、国道1号の4車線化と菊川インターチェンジのフルインター化・環境対策・国道1号横断部への歩道設置・県道吉沢金谷線の拡幅・菊川の改修などが主な要望である。県は、住宅付近のルートの見直しを行った。国道1号の4車線化と菊川インターチェンジのフルインター化

問 国へ強く要望している。環境対策・国道1号横断部への歩道設置・県道吉沢金谷線の拡幅・菊川の改修については、今後調査を行い、必要箇所から整備を進める。

問 国へ強く要望している。環境対策・国道1号横断部への歩道設置・県道吉沢金谷線の拡幅・菊川の改修については、今後調査を行い、必要箇所から整備を進める。



国道473号バイパス設計図の一部と完成予想図

川根温泉宿泊施設の建設

問 事業の効果は何か。

問 雇用の確保、地元食材の活用による農業振興、商業振興、木材産業の振興が期待できる。

問 外国人やスポーツ選手などの大柄な利用者のためのゆったりルームは造るのか伺う。

答 今基本計画の段階である。今後検討する。



近隣市町で導入されている防災ラジオ

問 子ども手当の支給により、未納世帯から納付された保育料、給食費はいくらか。

答 現金支給・納付相談により、保育料652万5650円、学校給食費104万4199円が納入

子ども手当は

どのように変わるのか



ふじもとよしお
藤本善男 議員
(一問一答)

問 子ども手当特措法により、支給内容はどのように変わるか。

答 現行は1万3000円だが、10月からは3歳未満が1万5000円、3歳から小学校までの第

問 10月分が支給されるのはいつか。

答 来年の2月に支給となる。

された。

問 今後も、子育てプレミアム金券販売は継続されるのか。

答 支給月に販売数が増加するなど、着実に子育て家庭の支援につながっているため、販売を継続していく予定である。

災害発生時、情報は入手できるか

問 同報無線の難聴地域はないか。

答 難聴地域はないと思うが、自治会からの要望があれば、機器の調整や新たな屋外スピーカーの設置を検討したい。

問 同報無線が聞ける防災ラジオを市で購入する考えはないか。

答 山間部やビル街で受信できない可能性もあるが、他市の状況を確認しながら検討したい。

問 FM島田の電源や通信回線が被災した場合でも放送は継続できるか。

答 非常用の電源、おおり屋上の非常用通信アンテナで対応する。

放射能汚染に対する茶園管理は

やぎのぶお
八木伸雄 議員
(一問一答)



問 来年、新茶への放射能の影響をなくすための茶園管理について、農家への指導は。

答 敷き草・敷き藁の自粛を指導したい。

問 島田市の野菜やお米は安全だ。し尿処理場の汚泥からも放射能は検出されていない。敷き藁・敷き草を自粛するのか。その場合、資材の処理や補償はあるのか。

答 補償があるかは分からないが、県とJAの指導に沿っていきたい。

金谷を生かす街づくり

問 空港ができ、新東名が開通する。市民は大きな期待をしていた。金谷はどう変わったのか。どう発展させるのか。ビジョンを示してほしい。

答 農業振興地域として保全すべき農地と都市基盤の整備とのバランスのとれた土地利用を考えている。

問 東名・新東名・御前崎港・大井川港・静岡空港の陸海空を結ぶアクセスが遅れている。

答 御前崎港から東名・静岡空港、さらに国1バイパスと新東名へのアクセス道路である国道473号の工事が決まった。大井川港へのアクセスもあとわずかで完了する。



平成24年には部分開通する新東名

問 県道住吉金谷線を全線拡幅しなければ金谷・金谷河原は生きない。

答 地盤が悪くて工事が難しい。

要望 住吉金谷線の全線拡幅は、鎌塚橋を造るより工事費が少なく有効と思われる。県に強く要請すべきだ。

ほかに五和駅周辺道路の整備とトイレの改修。また、空港隣接地には日本一の防災センターを、中学校跡地には歴史博物館を建設するよう要望した。



大学誘致の候補地、島田市民病院周辺

大学誘致の進捗状況は



とみざわひろあき
富澤保宏 議員
(一問一答)

問 大学との交渉の経過と今後の計画は。

答 本年1月に担当の職員が当該大学を訪問して以降、これまで大学関係者との間で正式な協議に入るよう事前の話し合いを行っている。希望としては、今年度中には何とか覚書などの約束事ができたらいいと思っている。

問 どの大学のどんな学科が設置されるのか、また学生数は何人か。

答 微妙な問題であるため、公表は差し控えさせてもらいたい。

問 大学からはどのような条件が出されているか。

答 本市への立地検討にかかわる前提として、キャンパスが中心市街地近郊に設置可能であること、また設置する学科と市民病院との連携が可能であることが示されている。

問 中心市街地への新病院建設

後の現病院の建物利用について、高齢者の療養病床として活用したいとの計画はどうなるか。

答 何とか200床は特養待機者のため残したいと大学側に話をしていきたい。

地震等災害への対策は

問 市内には中山間地など、道路の寸断によって孤立する地域が多数想定されるが、対策についてどのように考えているか。

答 孤立が予想される集落や地区の避難所に衛星携帯電話を配備している。また、救助や物資輸送などの救援活動については、最寄りのヘリポートを拠点基地として行う計画である。現地からの情報については、現地班が待機し、携帯無線で本部へつなげるのが一番スムーズな連絡となる。

問 犬間地域では孤立を恐れ、地元で土地提供と木の伐採をして広場の整備を望んでいるが。

答 もう少し状況を詳しく聞いて対応したい。

再生可能エネルギー利用の促進を！



しみずただし
清水唯史 議員
(一問一答)

答 温室効果ガス排出量の効果的な削減を図るため、一般住宅で住宅太陽光発電システムとエコキュートあるいはエコジョーズなどの省エネ設備のいずれかを同時に導入することが要件となる。

問 エコジョーズ、エコキュート単独では補助申請できない理由は。

答 100%県からの補助事業であるため、その条件と同様としている。

問 関東農政局が、大井川用水の農業水利事業として小水力発電所の建設を計画しているが、その目的は。

答 国営大井川地区にある4つの改良区で使用する電力量を賄うことと、発電事業者による売電し、今後の発電所の維持管理経費や将来の整備経費に充てること

問 エコマイハウスの補助要件は。

問 東日本大震災を契機に、再生可能エネルギーの利用がクローズアップされ、各方面で促進されているが、現在の島田市の取り組みは。

答 小・中学校などの公共施設への太陽光発電設備の設置、一般住宅への太陽光発電設備の導入促進を目的としたエコマイハウス補助金の交付および初倉南小学校への風力発電設備の設置等である。

を目的としている。

問 市単独での小水力発電所の建設は検討しないか。

答 今回計画されている施設工事費は約17億円である。費用対効果を考慮すると、単独では困難である。

問 今夏は節電意識が全国で高揚したが、学校でのエコ教育の取り組みは。

答 太陽光発電、雨水利用、ビオトープなどを連動させたエコ教育を進めていきたい。



避難所に設置された太陽光発電施設 (石巻市雄勝町)

子ども・若者育成支援

推進法とは



ほしのてつや
星野哲也 議員
(二問一答)

問 不登校・ニート・ひきこもりなど、社会生活を営む上で困難を有する子ども・若者の健やかな成長と、社会生活を円滑に営むための自立支援を手助けする法律である。

答 学校復帰を目指して支援している小・中学生は23人、労働人口15才〜34才までの完全失業者・ニートは1205人。

問 ニート・失業者に対して指導・相談ができる機関はあるか。

答 ニートを対象とした就職支援セミナーを開催している。また、ヤングジョブステーション・若者サポートステーション等の公的支援を行っている。さらにNPO団体が相談・カウンセリングの就労支援をお



「チャレンジ教室」のある教育支援センター

り、就職斡旋については、ハローワークが中心に行っている。

問 犯罪や災害から身を守る「安全科」という授業があるが、市として授業に取り入れる考えはあるのか。

答 池田小学校で実践する生活安全・交通安全・災害安全等の「安全科」の授業は、市では行わない。これまで同様に学級活動や「安全教室」等の行事の中で、子どもの実情に合わせて行う。



見直しが予定される市総合計画

10年前、無施錠の校門から侵入した犯人は、児童8人を殺害した。他児童・教諭15人にも重傷を負わせる悲惨な事件だった。

問 この事件の教訓を生かして、小・中学校はどのような防犯対策をしているのか。

答 児童・生徒の安全確保を最優先に、門扉やネットフェンスの整備、インターホン・学校案内板を設置した。

問 島田市総合計画等における位置付けは。

※このコーナーの掲載記事は、発言議員本人からの寄稿によるものです。

大学誘致に期待する

そねよしあき
曾根嘉明 議員
(一問一答)



問 大学誘致交渉の開始から今日までの経過は。

答 企業懇話会の産学共同システム研究所の講師との会話の中で、島田市に大学が欲しいという話があり、若者がいない街は活性化もないし、重要だということは何とかお願いしたところ、講師の方が島田市をだいぶ宣伝してくれ、大学側が乗り気になってくれた。本年1月に担当職員が当該大学を訪問して以降、大学関係者との間で正式な協

問 市総合計画により本市が重点的かつ戦略的に取り組む重点プロジェクトの一環として取り組むものである。計画は来年度見直しをすることになっており、その機会を捉えて高等教育機関の誘致に関する内容の追加等を考えていきたい。

議に向けた事前の話し合いを行ってきた。

問 大学側が島田市を選んできた理由は。

答 2月に副学長・学部長のほか教授が11人来島され、市民病院・看護専門学校・総合体育館・伊太和里の湯・マラソンコース等いろいろな場所を案内した。選定の主な理由は、体育館と病院がすぐそばにあるということ。また、大学が島田市へ来てくれそうなのは、ある面では空港のおかげでもある。

問 新病院の移転と並行して進めていくのか。

答 大学誘致の候補地として市民病院が移転した跡地を想定しており、当該移転事業との調整を図りながら進めていく。

議案に対するQ&A

市長から提出された議案に対し、7人の議員が27項目について質疑しました。
以下、主なものを掲載します。

〔認定第1号〕

平成22年度一般会計決算認定

☆地域の魅力発信事業について

問 地域の魅力発信事業業務委託1900万5600円について、どのような効果があったか。

答 3人の雇用を行うとともに、FM島田の経営安定に寄与した。

☆空港推進対策事業について

問 空港推進対策事業に関連して、静岡空港の開港効果をどのように捉えているか。

答 お茶の郷の来場者数・大井川鐵道の利用者数・蓬萊橋の見学者数の増加が確認された。

☆バス路線運行維持助成経費について

問 金谷島田病院線への補助が大幅に増加しているが、現在の利用状況と増となった理由は何か。

答 この路線の利用者については、平成19年度17万人、20年度15万人、21年度13万4000人と大きく減り続けており、22年度についても、見込みを下回ったために補助を増額せざるを得なかった。

☆保育園の民営化について

問 市立保育園の移管先法人を選考する委員会を開催できなかったものの、保護者から民営化について理解を得たと判断しているよう

だが、その理由は何か。

答 説明会等を通じて、保護者からの反対の理由は、今のままでいいとか愛着があるといった情緒的なものであったため、民営化そのものについてはほぼ理解が得られたものと受け取っている。

☆職員採用について

問 市民病院の看護師が募集した人数に満たないが、厳しい労働環境を嫌ったもので、将来的な医療崩壊につながらないか。

答 看護師不足は全国的な傾向である。島田の50人の募集に対して40人採用に比べ、藤枝が50人の募集に46人の採用、焼津が30人の募集に31人の採用といっ

た状況で、島田が特に悪いとは考えていない。

ただ、労働条件が厳しいのは確かなので、改善に努めてきた。

問 空港周辺プロジェクト推進事業として用地を取得しているが、メッセ建設について進展はあるか。

答 空港ティージャーデンシティ構想が県において策定され、空港周辺の今後の方向性が示された。取得した用地と旧金谷中学校跡地の活用について、構想の早期具体化に向け県に働きかけていく。

〔認定第12号〕

平成22年度病院事業会計決算認定

問 収支が黒字化したことについて、どのよ

うに評価しているか。

答 診療報酬改定による医業収益の増や経費節減により黒字化した

ものとみている。未収金についても、収納率向上に努めてきた。



しずてつジャストラインが運行する金谷島田病院線

【議案第60号】

平成23年度一般会計
補正予算(第2号)

☆消防通信指令シ
ステム整備事業に
ついて

問 消防通信指令業務
の焼津市への委託を廃
止した理由は何か。

答 焼津市から消防通
信指令業務の共同運用
について平成24年度末
をもって廃止したいと
の申し入れがあった。
共同運用開始時と消防
広域化の枠組みが変わ
り、焼津市と藤枝市と
の広域化が決まったこ
とが大きな理由である。

☆防災医療救護施
設整備事業について

問 安定ヨウ素剤につ
いて、購入数や使用方
法など詳細を伺う。

答 購入数は4万40
00人分で、丸薬に換
算して14万5000錠、
保管場所は小・中学校
等の救護所を予定して

いる。使用時期は放射
性ヨウ素を取り込む前
だが、具体的には関連
情報や医師のアドバイ
スに基づき災害対策本
部長が決定する。配布
服用は避難所で行う予
定だ。

☆川根温泉宿泊施
設建設事業について

問 宿泊施設を民間で
は運営できないと判断
した理由と、昨年9月
の実施計画で示された
8億円の事業費が18億
円まで増えた理由は何
か。

答 将来的には指定管
理を考えているが、適
切な管理料が不明なた
め、まず直営でそれを
見定めたい。事業費増
については、まだ未確
定な部分もあるので、
今後基本設計・実施設
計を行う中で変更があ
る場合には議会にも報
告したい。



宿泊施設の建設が予定される川根温泉

☆産学官連携プロ
ジェクト推進事業
について

問 産学官連携とは何か。

答 このたびの産学官
連携は、大学誘致によ
り市と大学の連携を図
るとともに、地域経済
への波及効果や産業の

活性化を目指すもので
ある。

問 大学誘致の構想を
策定すると聞いている
が、どのような内容に
なるのか。

答 大学誘致の基本的
な方針を定めるととも
に、大学立地による波

及効果の分析を行う予
定である。

問 相手の大学とはど
こまで具体的な話をし
ているのか。

答 正式な協議を開始
するための事前の話し
合いを行っている。今
後、具体的な協議を進
めていく。

☆茶の放射性物質
検査に対する助成
について

問 茶振興事業のうち、
茶の放射性物質検査助
成経費の内容を伺う。

答 市内の生産者およ
び茶商が自主的に検査
する費用のうち、生葉・
荒茶・製茶のいずれか
1品目について、1回
に限り1万円を上限に
助成する。

☆防災用施設資機
材整備事業について

問 放射線測定器の購
入について、事業内容
を伺う。

答 空中を測定するた
めのシンチレーシオン
式測定器を本庁舎・金
谷庁舎・川根支所並び
に六合・初倉の各公民
館に配置し、物質測定
用のGM式測定器につ
いては人が集まる場所
での使用を考えている。
他に人体用の測定器1台
も購入する予定である。

